Metabaru
めたばる

巻頭の辞

始めに、７月初旬の大雨による災害において被害にあわれた隊員・隊員家族に哀悼の意を表するとともに、災害派遣に従事した隊員の労に感謝申し上げます。

災害は、いつどこで発生するか予測が困難であり、充分な準備と初動が重要であります。そのため、７月には、佐賀競馬場（組合）と「災害時等における施設使用に関する協定」を締結し、災害派遣活動はこれまで以上に柔軟な対応が可能となりました。また、９月には鳥栖・三養基地区消防総合訓練に第４飛行隊及び初動対処部隊を参加させ、大規模地震発生時の初動対処部隊の行動等を演練するとともに、地方自治体及び災害対策関係機関との連携強化を図ることが出来ました。

陸上自衛隊は今、我が国を取り巻く厳しい安全保障環境に的確に対応し、我が国の平和と安全を守るため、「真に戦える陸上自衛隊」への改革の最中です。「統合機動防衛力」を具現する「即応機動する陸上防衛力」を構築するため、中期実員管理計画に基づき、准曹の全国移動も活発化しています。

目達原駐屯地も、８月の定期異動に伴い、多くの隊員が転入致しました。その中には、ご家族と離れて過ごすことに一抹の不安を抱えている隊員家族もいらっしゃると思いますが、何か困った事があれば是非とも部隊を頼って頂きたい。

佐賀は、吉野ヶ里公園など趣のある観光名所が多々あります。葉隠の意思を受け継ぎながら目達原駐屯地での任務に邁進して頂きたいと思います。

佐賀県副知事との協定書披露（佐賀競馬場）

鳥栖・三養基地区消防総合訓練（上峰町役場）

新着任部隊長等

第３対戦車ヘリコプター隊長
一等陸佐　谷本　秀典
出身：愛媛県
職種：航空科
要望事項：「見敵必殺」「雌伏雄飛」「合規適正」

西部方面ヘリコプター隊長
一等陸佐　川宿田　州成
出身：鹿児島県
職種：航空科
要望事項：「思いやりの心」「大切な人の為、絶対航空安全と服務事故の根絶」

九州補給処整備部長
一等陸佐　神藤　守
出身：大阪府
職種：通信科
要望事項：「任務の完遂」

発　行
自衛隊目達原駐屯地
〒842-0032佐賀県神埼郡吉野ヶ里町立野7-1
TEL.0952-52-2161

上記掲載のQRコードから目達原駐屯地ホームページを閲覧できます。

ふれあいコンサートinトス２０１８

駐屯地は、平成３０年９月２２日（土）鳥栖市民文化会館において「ふれあいコンサートinトス２０１８」を開催しました。

今回も西部方面音楽隊を演奏者とし、鳥栖商業高校ダンス部及び香楠中学校音楽部が出演しました。

演奏の開幕を切った鳥栖商業高校ダンス部は、『鵲（かちがらす）～七夕の夜に架ける橋～』をダンスしました。

出演後は、鳥栖商業高等学校の井上部長、香楠中学校の山口部長と北原副部長の３名に対して司会者から「今後の目標等」のインタビューに堂々と笑顔で答え会場は和やかな雰囲気に包まれました。

演奏の最後を飾った西部方面音楽隊は指揮者の伊東札記隊長の元、圧巻の演奏により会場を盛り上げ一気にヒートアップし、アンコールでは、西部方面音楽隊を中心に香楠中学校と鳥栖商業高校によるコラボ演出を行い「翼をください」を合唱し最後は、方面音楽隊による行進曲「忠誠」を演奏し会場から多くの声援と拍手を浴び大盛況で演奏会の幕を閉じました。

香楠中学校音楽部による合唱

鳥栖商業高校によるダンス

西部方面音楽隊による演奏

アンコールは、出演者によるコラボレーション

職場体験

駐屯地は、平成３０年７月６日（金）から職場体験学習を開始し、佐賀県内中学、高校及び大学生合わせて２２校、述べ１２２名を受け入れ駐屯地において基本教練や装備品見学等を体験をしました。

また、隊員食堂において、隊員と同じ献立を喫食して、束の間の自衛官気分を味わいました。

駐屯地は、引き続き、自衛隊・目達原駐屯地への理解促進を図り、将来にわたる募集環境の拡大に努めます。

第４飛行隊長による装備品展示説明

九州補給処補給部による補給品展示説明

夏休みちびっ子大会

駐屯地は、平成３０年７月２１日（土）「夏休みちびっ子大会」を開催し、佐賀県内小学４年生から６年生の５３名が参加しました。子供達は敬礼動作や方向変換等の基本教練を体験しました。オリエンテーションでは、６種目の競技をスタンプラリー形式で競技し、楽しみながらも真剣に挑み表彰台を目指して取り組んでいました。

お楽しみ昼食のメニューは、毎年大人気の「ちびっ子カレー」で子供達は笑顔で頬張り、お腹いっぱい食べ、満足した様子でした。

午後からは、自衛隊車両の体験試乗、うちわ作成に取り掛かり、思い思いのイラストをうちわに描き、マイうちわを作成して楽しんでいました。

興奮も冷めやらぬままちびっ子大会の時間は終了し、たっぷりと遊んだ子供達は「楽しかった～♪」と、迎えに来た保護者と共に笑顔で駐屯地を後にしました。

「夏休みちびっ子大会」を開催し、佐賀県内小学４年生から６年生の５３名が参加しました。子供達は敬礼動作や方向変換等の基本教練を体験しました。オリエンテーションでは、６種目の競技をスタンプラリー形式で競技し、楽しみながらも真剣に挑み表彰台を目指して取り組んでいました。

お楽しみ昼食のメニューは、毎年大人気の「ちびっ子カレー」で子供達は笑顔で頬張り、お腹いっぱい食べ、満足した様子でした。

午後からは、自衛隊車両の体験試乗、うちわ作成に取り掛かり、思い思いのイラストをうちわに描き、マイうちわを作成して楽しんでいました。

興奮も冷めやらぬままちびっ子大会の時間は終了し、たっぷりと遊んだ子供達は「楽しかった～♪」と、迎えに来た保護者と共に笑顔で駐屯地を後にしました。

かささぎのつぶやき

第３対戦車ヘリ隊　第１飛行隊長
２等陸佐　野呂　和矢

東京オリンピックの開催まであと２年となった。招致が決定した当時は、「お・も・て・な・し」と言ったフレーズや近未来的な新国立競技場のデザインに高揚感を覚えたのを記憶している。

あれから５年、大会会場周辺では空前の建設ラッシュとなっているほか、アベノミクスの堅調な進展により全国で有効求人倍率が１倍を越える状況は定年または任期制隊員の再就職に有利に働いており、まさに「自衛官は売り手市場」と言う表現が当てはまるのではないだろうか。

他方で援護センター等に就職の援助を希望する隊員の比率は定年退官される隊員と任期満了退職する隊員の間で大きな差があるようである。

理由は様々であろうが、定年退官される方は「ＯＢの方が勤務している企業の方が安心して働ける」等から援助を希望される方が多く見られる反面、任期満了退職する隊員の中には「（退職後も）自衛隊の人間関係に引きずられたくない」との理由から自己開拓する隊員もいるとの事である。

誰しも例外なくいつかは第二の人生に向けて営門を出るときが来る。その時に少しでも良き思い出を持って行って貰うためにも平素から良好な勤務環境や良き人間関係の構築等に尽力する事が現役世代に課せられた責務であろう。

西部方面後方支援隊

第106全般支援大隊

西部方面後方支援隊第106全般支援大隊は、7月2日（月）から9月5日（水）までの間、平成30年度新隊員特技課程及び第11期一般陸曹候補生課程後期「装輪車整備」の教育を行いました。

本教育隊に入隊した新隊員77名は、武器科の概要や装輪車整備等の基礎を学んだほか、野外訓練では、野外勤務、築城、野外整備等の識能を向上させてきました。

教育を修了した新隊員は、西部方面後方支援隊、第4後方支援連隊、第8後方支援隊及び九州補給処に配属され、一人前の装輪車整備手となるよう現在も日々努力を重ねています。また、教育担任官である第106全般支援大隊長は「本教育で培った同期の絆を育み、新たに勤務する部隊や日常生活を行う場所そのものを修錬の場とし今後、更なる整備技術の向上、心身の鍛錬に精進してもらいたい。」と述べました。第8後方支援連隊に配属となった振屋2士は、教育を振り返り「当初は、装輪車整備の知識がなかった上に、新たな環境における同期との共同生活に混乱していましたが、同期や区隊長・班長等の助けがあったおかげで乗り越えることができました。この経験を糧に、立派な自衛官、被支援部隊から信頼されるように頑張っていきます。」と述べていました。

希望に溢れた表情で迎えた終了式

第3対戦車ヘリコプター隊

第3対戦車ヘリコプター隊は、7月14日（土）から16日（月）までの間、大野原演習場において、第1飛行隊と本部付隊の基礎となる部隊を対象に、平成30年度第1次ヘリ隊長訓練検閲を実施しました。

本検閲は、「現有編成装備を最大限活用して真に戦えるか」を視点に、展開地等の設定、ヘリコプター火力戦闘、警戒自衛戦闘等の各種任務における部隊の基本的行動、隊員の基礎動作等を主検閲項目として実施しました。

各隊員は、統裁官要望事項である「翔騎一丸」「見敵必殺」を具現すべく、猛暑という厳しい環境を克服し、隙・緩みを見せることなく全ての任務を完遂しました。

第3対戦車ヘリコプター隊は、これからも真に戦える部隊を目指し、方面隊唯一のヘリコプター火力戦闘部隊として「翔騎一丸」となって任務に臨みます。

AH－1Sの偽装

警戒隊HMGによる対空攻撃

隊容検査

西部方面ヘリコプター隊

9月7日（金）高遊原分屯地において西部方面航空隊新隊員後期修了式が挙行されました。

平成30年度新隊員後期における総員は21名、その内4名（目達原には松永2士、白須2士、古賀2士の3名、高遊原には黒木2士）が我が西部方面ヘリコプター隊へ配属となり、9月10日（月）に新隊員を歓迎するため、紹介行事を行い、新隊員がフレッシュさを全面に押出し元気よく自己紹介し、それぞれの個性をアピールしました。

ヘリ隊長から激励の言葉を頂き、隊員一同が盛大な拍手で新隊員を歓迎し、航空科隊員としての一歩を踏み出しました。

最後に、新隊員には若々しさを忘れず新隊員らしく元気に行動し、部隊に早く慣れ各隊の戦力となれるよう、期待します。

西ヘリ長による新隊員家族へ部隊説明会

新隊員紹介行事（歓迎の拍手に答礼）

新隊員後期教育修了式記念撮影

第321基地通信中隊

西部方面通信群第102基地システム通信大隊第321基地通信中隊は、目達原駐屯地及び隷下各派遣隊所在駐（分）屯地（小郡、久留米、前川原、鳥栖、相浦、大村、竹松）において、8月27日（月）から29日（水）の間、第4回大隊訓練に参加し、防衛想定下における指揮・幕僚活動、通信所の維持運営、サイバー攻撃対処及び通信所等の防衛警備能力の向上を図るとともに、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作について演練しました。訓練に参加した光武2曹は、「通信所警備及び対敵動作について、全隊員が常に敵を意識し、行動することが出来ました。」と述べました。

航空攻撃対処（通信所内）

緊急回線構成

通信所警備（不審者捕獲）

曹友会

駐屯地曹友会は、平成30年8月23日（木）に佐賀県赤十字血液センターの献血バス来隊にあわせて、献血協力運動を実施しました。

この献血協力運動は、前年度より実施している事業の一つで、実施する前より約20％の協力者の増加の成果を収めています。

今回は、部隊行動の関係もあり、受付人数124人、採血人数111人でありましたが、目達原駐屯地曹友会は、今後も引き続き献血協力運動を実施し、献血協力者を増やしていきたいと考えています。

駐屯地正門においての献血協力活動

西通群本部中隊
映像写真小隊空中伝送班

空中伝送班は、9月3日（月）、西方通信群長奈良1佐の初度視察を第321基地通信中隊と合同で受察しました。状況報告、西方ヘリ隊の支援を受けての器材展示説明及びヘリ映伝機搭乗による場周フライト等により空中伝送班の現況を報告するとともに、懇談会にて訓示をいただき、改めて映像伝送任務の重要性と求められる練度の高さを深く認識しました。

引き続き、群長統率方針である「時代の要請に応える」べく、即動態勢を維持しつつ練度向上に努め任務に邁進します。

通信群長による営内巡視

定年退官者及び退官予定者

▽1月
16日　電計　栗原2尉
25日　装計　西　1曹
29日　後支　江頭曹長
▽2月
13日　調会　吉村2曹
15日　整備　大道2尉
18日　総務　目黒2佐
21日　調会　谷　准尉
▽3月
4日　装計　田北曹長
▽10月
12日　総務　中島曹長
14日　3対　豊永曹長
15日　装計　大松准尉
25日　西へ　濱本曹長
▽11月
1日　後支　緒方1尉
4日　整備　石橋1尉
14日　電計　光岡1尉
▽12月
2日　装計　原崎3佐
8日　4飛　安田3佐
23日　総務　志水准尉
31日　4飛　松田3尉

※　階級は特別昇任後の階級としています。